

2023年5月1日

各 位

会社名 株式会社東京個別指導学院
代表者の
役職・氏名 代表取締役社長 齋藤 勝己
(コード番号 4745・プライム市場)

問合せ先責任者

取締役 堤 威晴

TEL 03-6911-3216

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、「株式会社東京個別指導学院 コーポレートガバナンス基本方針」(※)における取締役会の実効性評価に基づいて、取締役会の実効性に関する評価を行いましたので、その結果の概要について下記のとおり、公表いたします。

記

1. 評価の方法

取締役7名及び監査役4名(計11名)に対して無記名の自己評価アンケートを実施し、取締役会の構成、取締役会の運営、社外役員に対する情報提供等の各評価項目について5段階評価とともに自由意見欄を設けて自己評価を実施しました。

自己評価アンケートの集計結果につき、社外取締役3名、社外監査役2名にて構成される独立社外役員会にて報告書を取り纏め、当社取締役会において、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しました。

2. 分析・評価結果

(1) 分析・評価結果の概要

当社取締役会は、以下の観点から、取締役会の実効性が確保できていると評価しました。

① 取締役会の構成について

- ・同じメンバー構成での3期目にあたり評価が微減していることから、員数、スキル構成の質やバランスについて、長期的な経営の方向性や事業戦略に照らして強化する余地が出てきた。
- ・多様な経験及び専門性をもつ独立社外取締役が員数の42.8%を構成し、上場したプライム市場の基準を満たしている点も評価されている。
- ・社外役員の任期については、取締役指名・報酬委員会にて検討が必要である。

② 取締役会の運営について

- ・今期は、昨期の改善活動として資料の質の向上を意識した運営を行い、その点は評価されたが、報告事項、付議事項、審議事項の各々について内容や時間への不足感がみられた。
- ・毎回の取締役会において社外役員を含めて自由かつ闊達な議論が展開されている。

(2) 分析・評価結果から抽出された課題

当社取締役会の実効性を更に高めるために取り組むべき課題として、以下の課題を抽出しました。

取締役会の運営の課題について

- ・経営戦略や経営計画などについての建設的な議論を十分に行えるような運営を工夫する。具体的には、取締役会の実施時間の調整をはじめ、付議事項においても、議論の必要性が低い事項については、付議手法の変更や付議時間の比重を下げること、重要事項を議論する時間を創出する。
- ・社外役員に対し、経営、財務、リスク管理に係る情報や業界情報を適量かつタイムリーに提供することを強化する。

3. 今後の対応

当社は、上記の分析・評価を踏まえ、取締役会の実効性の更なる向上を目指し、抽出された課題の改善に努めてまいります。

また、評価の方法、プロセスの改善を検討し、ガバナンス体制の更なる強化を図ってまいります。

以上

(※) URL : <https://www.tkg-jp.com/about/governance.html>